

## 【展示物名】 佐土原歴史資料館（鶴松館） 「中世・近世の佐土原」

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

## 【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

- ☆ 鎌倉期から始まる佐土原の武士による統治と文化の発展を展示物、資料、建造物、史跡から理解することができる。
- ☆ 戊辰戦争においては、佐土原藩が官軍として錦の御旗のもと戊辰戦争に参戦し、東北まで戦いに行っている。また、文明開化のもとアメリカから帰った島津啓次郎が人材育成を行ったこと。そして、その島津啓次郎が西郷隆盛とともに西南戦争に参戦して亡くなったことなど明治維新の混沌が資料とともに理解できる。
- ☆ 1年時のまとめの単元に「でかけよう！地域調べー歴史博物館に行こう」の指導においては、佐土原歴史資料館は、資料、建造物、史跡の面から学習をすすめるための格好の教材や活動を提供することができる。

## 【写真】



【当時のままの登城路】



【枯山水の庭】



【錦の御旗】

## 【学習指導要領】

〈中学校1年〉 歴史的分野

B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本

ア (ウ) 民衆の成長と新たな文化の形成

農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解すること。

〈中学校2年〉 歴史的分野

C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界

ア (イ) 明治維新と近代国家の形成

開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変わったことを理解すること。